白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol. 685

平成31年2月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集
牛乳のおいしさを伝える
大山乳業農協の食育活動

現場潜入
大山乳業農協の牛乳ができるまで

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

牛乳のおいしさを伝える 大山乳業農協の食育活動

牛の学習のようす（大山町 山下さん）：鳥取市にて

牛の事を知らない人って、実は多いんです

先日、大山乳業農協の食育活動グループ「もーもーカウィクラブ」の取材に伺った際、そう教えてくださったのは、琴浦町の酪農家で「もーもーカウィクラブ」メンバーの前田さん。

この日は地域の公民館で40名程の小学生と一緒に牛乳・乳製品を使った料理を作りました。

もーもーカウィクラブの食育活動は調理の前に牛の事を知ってもらう活動からスタートします。

大きな牛がプリントされた幕の前に集まった子ども達は、前田さんが話を始めるとおしゃべりをやめ、食い入るように前田さんの話に注目し始めました。

産まれて間もない子牛のようすや、牛は出産しないとお乳が出ない事、体重や乳房の数など、子ども達がイメージしやすい例え話を使いながら巧みな話術で引き付けます。子ども達は「うそー！」「知っとる！」と思い思いの反応を見せます。そのたびに前田さんは、優しく受け答えし、子ども達からは質問も飛び出します。

こうして子ども達は、牛について興味を持ちながら学び、理解を深めていきます。

牛乳は牛の乳という事は一般的で多くの消費者に理解してもらっていますが、牛に触れる事はもちろん、見る事も特別な事になりつつあり、牛の体の仕組みなどを知っている若い世代の方は少なくなったと感じるそうです。中には、乳牛の代表的なイメージがあるホルスタイン種は、全てがお乳を出すと思っている方や、牛の乳房は1つしかないんでしょ？と言われた事もあるそうです。

私達が当たり前に知っている事でも、知らない人がいる。人によって疑問に思う事や興味の方向も違う。だから、こうした機会に牛の事を知ってもらうのはとても大事だと思います。と前田さんはおっしゃっていました。

牛乳や乳製品を使った料理を紹介して、幅広い層に牛乳の消費を広げたい

今日のメニューはヨーグルト寿司、ホワイトソースのシチュー、そしてチーズケーキ。メニューを聞いた子ども達は、「え？寿司にヨーグルトって合わないよ。」「別々で食べたい。」と半信半疑。

調理が始まると、調理室は「私もしたい！」「代わって」と一気ににぎやかに。賑わう子ども達のパワーに圧倒さ

れます。

前田さんと一緒に活動に参加してくださった川本さんや徳丸さんへも「先生!」「先生!」と調理の質問をする声が次々に上がり、調理が終盤になると、いよいよ盛り付け。ヨーグルト寿司は自分たちでトッピングし、テーブルへ運びます。テーブルに並んだ料理を前に待ちきれない子もちらほら。食事が始まると「おいしい!」「おかわりありますか?」と満足したようすでした。中にはシチューを3杯もおかわりに通う子どもの姿も。

普段は苦手な食材や料理があっても、自分で作って友達と一緒に味わう事でペロッと食べられる子どももいるんだそうです。

これぞ、食育マジック!

「どうにかしないと」もう、それだけでした

地産地消の食育の一端を担うもーもーカウィクラブも、発足した頃は多くの苦労があったそうです。

平成18年、消費者の牛乳離れなどにより全国的に牛乳は窮地に追い込まれます。消費の低迷により生乳を廃棄せざるを得ない状況は、鳥取県の酪農にも深刻な影響を与え始めました。そんな中、前田さん、大山町の山下さんら酪農家の女性達が立ち上がります。

とにかく「どうにかしないといけない!」当時は何か行動を起こさなければ、という思いで、どのようにすれば牛乳を消費してもらえるだろうか?と考え、牛乳を使った料理講習会をスタートさせました。

実はその時、大山乳業農協に相談せず有志が集まって始めた為、どんなことをしているんだろう、大丈夫だろうか、など不安や心配の声も耳に入ることもあったそうです。

しかし、そんな不安をよそに、講習会は好評。活動も活発になっていきました。

そのようすを知った幅田前組合長が活動に協力してくださり「きちんと組織化して活動してもらおう」と平成19年に「もーもーカウィクラブ」が発足しました。

その後も、もーもーカウィクラブの活動を他の酪農家の皆さんに知ってもらうため、活動の場に大山乳業農協の理事をされている酪農家の皆さんに一緒に参加してもらいました。牛についての話を引き受けてもらい、一緒に活動に参加してもらうことで、活動への理解も広がり、今では大山乳業農協の食育活動に欠かせない存在になりました。

食育活動が必要とされる限り続けたい

活動は幅広く、小学生はもちろん、高校からの依頼で授業をしたり、大人の方への料理講習会など年間10件程の活動を行っておられます。

地域も西へ東へと依頼があれば出かけます。

もーもーカウィクラブの皆さんは、ボランティアで活動されています。頼もしい若い世代の酪農家の皆さんと一緒に体が動く限り続けて行きたい。まだまだ頑張りますよ!と浮かべられた前田さんの笑顔が印象的でした。

今では大山乳業農協の食育を支えるもーもーカウィクラブ。

これからも地域の食育を支える存在であり続けてほしいと感じました。

1. 子ども達へ牛の話をするようす(前田さん)
2. グループみんなで協力して調理します
3. 調理が始まると、先生は大忙しです
4. 子ども達の調理のようすを見守ります
5. 鳥取県東部での活動のようす
6. この日完成した牛乳・乳製品を使った昼食

現場潜入

大山乳業農協の牛乳ができるまで

《第２回　集乳・生乳受入編》

大切な生乳を大山乳業農協へ運ぶ

私達が製品を作る為には、どんな時でも生乳を牧場から工場へ運ぶプロフェッショナルの存在が欠かせません。

ドライバーさんにお話しを聞くものの、実際の様子を思い浮かべられない私達は「?」の状態。「実際に見た方がわかりやすいよ。」との事で、ならば是非！と同行させていただきました。

牛から搾った生乳は、それぞれの酪農家の牛舎にあるバルククーラーで冷やされながら集乳を待ちます。バルククーラーとは、生乳を一時的に保存できる冷却タンクのことです。

「集乳車」と呼ばれる大きなタンクローリーで、牧場から工場へ生乳を運びます。集乳車はいつもピカピカ！酪農家から生乳を預かり輸送する集乳車は、常に清潔な状態でなければなりません。

日々行う集乳車の洗浄・殺菌は、集乳作業と同様、大変重要です。また集乳車には、タイヤを自動で消毒することが出来る消毒薬噴霧器が取り付けられています。外部から伝染病などの持ち込みを防ぐため、牧場の敷地内に入る前には必ず消毒を行っておられます。

集乳車のドライバーは経験豊富な検査員

さぁ、今日も集乳車が牧場へやってきました。

集乳車のドライバーは、経験豊富な検査員でもあります。牧場に到着すると、まず集乳する生乳に問題ないかどうか確認します。この時の検査項目は大きく3つ。乳温確認、アルコール検査、官能検査です。

乳温確認では、温度計のデータを確認し、適正に冷やされていたかを確かめます。大山乳業農協では、全ての牧場のバルククーラーに自記温度計を設置しており、バルククーラーの温度経過を24時間監視することが出来ます。

アルコール検査では、生乳とアルコールを混ぜ、生乳の細菌汚染や異常乳の混入が無いかの確認をしています。

また官能検査とは、人間の五感を用いて味・臭い・外観・色などに異常がないか調べるものです。口に含んでテイスティングしたり、日光に当てて生乳の色を確認するなどして検査します。これらの検査に合格してはじめて、集乳を開始することが出来ます。

集乳車には流量計が取り付けられており、集乳した生乳の量を計測・記録し、酪農家へ検査結果とともに報告されます。

集乳車のタンクは魔法瓶のような構造で、中は3つに仕切られています。これにより、加速時やブレーキ時に生乳が一気に移動するのを防ぐ効果があるのだそうです。生乳は10℃以下に保持された状態で、工場まで運ばれます。

工場へ到着さらに詳細な検査へ

生乳を積んだ集乳車が、大山乳業農協へ戻ってきました。

集乳車が向かうのは、生乳の受入れを行う「受乳場」。まず生乳の状態を確かめるため、集乳前にも行った乳温確認、アルコール検査、官能検査を再度集乳車ごとに行います。

また、集乳車はタンクに保管した生乳とは別に、集乳の際に採取した酪農家ごとの生乳サンプルを持ち帰っています。さらに受乳場にて、集乳車ごとの生乳サンプルも採取します。これらを使い、より詳しい検査を実施します。生乳に含まれる細菌数や体細胞数、乳成分、抗生物質の混入が無いかどうかなど、検査項目は多岐に及びます。

この検査項目すべてに合格すると、ようやく工場内へ生乳を受入れることが出来ます。工場には、1日におよそ160tの生乳が搬入されます。

では、不合格になった生乳はどうなるのでしょうか？

残念ながら、廃棄処分となります。

美味しく、かつ安全・安心な製品をお届けするため、常に厳しい姿勢で臨んでいます。

今回は牛乳をはじめとした製品の品質を守る要の一つである、集乳・受乳の現場にスポットを当て、ご紹介させて頂きました。いかがでしたでしょうか？

次回はいよいよ工場に受入れられた生乳が殺菌などの工程を経て皆さんおなじみの白バラ牛乳などの製品になる現場に潜入します。

ぜひご覧ください！

1
2

3
4

1. 集乳車が牧場に到着し、いよいよ集乳です
2. アルコール検査では小さな変化にも注視します
3. 集乳ごとにサンプルを取り、工場で検査します
4. 今回は白バラ企画の石田さんに同行しました
5. 集乳車は仕事が終わると毎日ピカピカに！
6. 工場での受け入れのようす

5
6

3/16 大山まきばみるくの里 第22期スプリングオープン 平成31年3月16日10時より

寒い冬も和らぎ始め、春の訪れと共に雄大な景色に誘われ、ようやく「大山」にもお客様が足を運んで下さる季節が参ります。

大山まきばみるくの里も「大山」を取り巻く観光施設の一員として観光振興活動に賛同し、今シーズンもお客様が再び大山へ来訪される事をスタッフ一同願っております。

さて、昨シーズンは鳥取県内外の白バラファンの方や、「大山開山1300年祭」「訪日外国人旅行（インバウンド）」「星取県」などの観光客誘致活動により、多くのお客様が大山まきばみるくの里にお越しくださいました。

今シーズンも外国人観光客は増加すると思われ、大山乳業農協のアンテナショップとして国内だけでなく、各国から訪れるお客様をどのようにお迎えするのか、どうPRするのか、日々課題と向き合いながら1人でも多くのお客様が「大山まきばみるくの里に行ってよかった。」と思っていただけるよう、おもてなししたいと思います。

また、旅行会社とのタイアップ企画や周辺観光施設と連携し、「大山」全体を盛り上げていきたいと思っておりますし、私たちの使命である「多くの白バラファンに長く愛され続けて頂く為の運営」を心掛けて行きたいと思っております。

そのために、体験メニューの充実や食事メニューの見直し、3・6・9（ミルク）月にお食事して頂いたお客様対象にギフトセットや大山まきばみるくの里オリジナルグッズなどが当るキャンペーン、降水確率を設定した「雨の日」企画などを継続して参ります。

本所工場との連携も密にし、工場見学も含めたお客様の周遊にも取り組んでいきたいと思います。

最後になりますが、毎年多くのお客様にご利用頂いております事に感謝申し上げますとともに、今年も多くの皆様にご家族・ご近所・職場のお友達等をお誘い頂きお越し頂きますようお願い申し上げます。

大山まきばみるくの里　前田

大山ワッフル

ズワイガニと
県産旬野菜のパスタ

1/26 平井知事が京都生協店舗を視察

1月26日（土）鳥取県の平井知事が京都生協の店舗「コープ醍醐石田」を視察されました。

今回の視察は、昨年5月に京都生協の畑理事長が鳥取県庁の平井知事を表敬訪問された際に京都生協と大山乳業農協の産直の歴史についてのご説明とせいきょう牛乳1000mlの紙パックに「星取県」をPRしたことがご縁となり実現しました。

平井知事は、鳥取県の農水畜産物の商品が並んでいる売場をゆっくりとご覧になり、最後は大山乳業農協のせいきょう牛乳やヨーグルト、アイスクリームなどをそれぞれ手に取り、多くの鳥取県産品が取り扱われていることに驚いていらっしゃいました。

これからも京都生協の店舗が鳥取県のアンテナショップとして、生協組合員様へご利用いただけるよう努力して参ります。　京都営業所　高見

写真左から、畑理事長(京都生協)、平井知事(鳥取県)、高見所長(京都営業所)

3/9 白バラ牛乳がテーマの イベントが東京で開催

3月9日（土）～3月17日（日）の期間中、東京・中目黒のカフェレストラン5店舗でCO-TORI2019が開催されます。

今年で7回目となる当企画は、鳥取の手仕事をもっと多くの人に知ってほしいと願う鳥取県と、地域に埋もれている良いものを沢山の人に紹介したいという思いの企画会社「サーモメーター」が行うイベントです。

毎年鳥取県の手仕事・産物をテーマにしておられ、今年は「白バラ牛乳」をテーマにイベントが開催されます。

期間中は、CO-TORIカフェと題し白バラ牛乳をスペシャルコラボ食材にして、中目黒の5つのカフェレストランがそれぞれコラボメニューを販売する予定です。　企画室

月刊 エンドーさん

大山乳業農協では以前より、工場では７Ｓ、事務所関係では５Ｓ活動に取り組んでいます。５Ｓ（整理、整頓、清掃、清潔、躾）については、皆さんが一度は耳にしたことがあると思いますが、これに洗浄、殺菌を加えたものが７Ｓになります。ただ、仕事場では５Ｓ、７Ｓを実践していても、家に帰ると整理・整頓が出来ないという人も多いかと思います。

整理・整頓が出来ない人は大きく分けると次の３つのタイプになります。

①「後でやる癖」の付いている人
②「もったいない」「いつか使うかもしれない」と物に対する執着心の強い人
③何でもかんでもまとめて保管する人

ということは、この逆を行えば整理・整頓が上手く出来るということです。

整理・整頓する際のポイントは、

①今日ちらかしたものは、今日片付ける
②定位置管理をする
③ものの見える化ですっきり
④分別収納で整理を効率化
⑤不用品は一時保管場所をつくる
⑥一定期間使わなかったら処分！
⑦無理のない範囲で実施

家庭で整理・整頓が出来れば、自ずとそれが仕事にも活かされます。

最近では、捨てるのがもったいないときは、フリマアプリで販売も出来ます。

最後に、整理整頓は習慣化することが最終目標です。最初からハイペースで始めると途中で挫折し、気がつけばドロップアウト・・・なんてことになってしまうと元も子もありません。
まず家の中を見回し、気になったところから少しずつ始めてみませんか？

ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

ＪＡグループ鳥取では人権・同和問題に対して「第７次（2018～2020年度）ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第７次（2018～2020年度）の期間中、人権・同和問題に対する啓発記事を年４回連載します。

第14回 「部落差別の解消の推進に関する法律について」

「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月16日に施行され、２年が経過しました。

この法律は、いまもなお存在する部落差別について正しく理解し、差別のない社会の実現を目的として制定されたものです。

同和問題（部落差別）とは、日本社会の歴史的発展の過程で形作られた身分差別によるものであり、「もう過去のこと」、「若い世代は知らない」と思われる方もいるかもしれませんが、今でも結婚や就職で差別を受けたり、公共の施設への心無い落書きや、インターネット上で差別を助長するような情報が書き込まれるといった事例が発生しています。

差別や偏見に基づく行為は、人格や尊厳を傷つけるものであり決して許されることではありません。差別をなくすために、インターネット上の根拠の無い情報等に対して、正しく適切な判断ができる知識を持つことが大切です。

そのためには、研修会に参加する等、継続的な学習を進めることが必要です。

学生へ向けて 大山乳業農協をＰＲ

先日、米子市で行われた米子高等技術専門学校生対象の進路研究セミナーへ参加しました。

会場には県内外の企業がブースを構え、訪れた学生へ企業の紹介を行いました。

大山乳業農協のブースにも学生が訪れ、熱心に話を聞く姿が印象的でした。

企業説明のようす

私のオススメ

大山乳業農協岡山営業所の松江です。岡山営業所に赴任して丸４年になりました。

さて、私のおすすめは、白バラファンなら誰もが一度は飲みたい「白バラコーヒー」です。私が高校生の頃、帰宅時に５００mlパックを購入し、すぐに飲み干し、疲れを癒した思い出があります。他メーカーの製品と比較すると、高校生にとっては高額なものでしたが、おいしさにはかないませんでした。

現在は販売をする側となり、製品の認知度や、お菓子やアイスの関連製品の発売で改めて白バラコーヒーも白バラ牛乳と肩を並べる看板製品に近づいたと感じます。この製品を開発・育成してこられた先輩方々に感謝し、今後も一消費者として当製品を愛飲し、また普及に努めていきたいと思います。

私も白バラコーヒーファンです！

指導課通信

Guidance Division Information

公益財団法人 鳥取県畜産振興協会 乳用牛放牧預託牛成績状況報告

単位：頭　　平成31年1月31日現在

牧場名	区分	頭数	内訳									
			育成牛	種付け対象牛				妊娠牛（月齢）				
					うち種付中		未種付					
						うち妊鑑待ち			17以下	18～20	21以上	妊娠牛中のET
鳥取放牧場	乳牛	562	152	187	118	50	69	223	111	93	19	69
	割合(%)	100	27	33	21	9	12	40	50	42	9	31
鳥取放牧場計	乳牛	562	152	187	118	50	69	223	111	93	19	69
	割合(%)	100	27	33	21	9	12	40	50	42	9	31
大山放牧場	乳牛	461	149	141	82	40	59	171	74	58	39	30
	割合(%)	100	32	31	18	9	13	37	43	34	23	18
俵原牧野	乳牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合(%)											
大山放牧場計	乳牛	461	149	141	82	40	59	171	74	58	39	30
	割合(%)	100	32	31	18	9	13	37	43	34	23	18
総計	乳牛	1023	301	328	200	90	128	394	185	151	58	99
	割合(%)	100	29	32	20	9	13	39	47	38	15	25

※1　種付けは、13ヶ月以上、体高127㎝で実施
※2　妊娠牛月齢の割合及び妊娠牛中のETの割合は、それぞれ妊娠牛中の割合

ET実績（乳牛）
※実施数、受胎率は鑑定済みのもの

年月	実施数	受胎数	受胎率
H29.12	41	22	54%
H30.01	40	22	55%
H30.02	37	18	49%
H30.03	81	45	56%
H30.04	43	21	49%
H30.05	42	23	55%
H30.06	34	15	44%
H30.07	36	15	42%
H30.08	34	13	38%
H30.09	52	29	56%
H30.10	61	30	49%
H30.11	58	33	57%

AI実績（乳牛）

年月	実施数	受胎数	受胎率
H29.12	128	65	51%
H30.01	106	64	60%
H30.02	103	59	57%
H30.03	77	42	55%
H30.04	98	49	50%
H30.05	103	60	58%
H30.06	82	49	60%
H30.07	58	21	36%
H30.08	96	48	50%
H30.09	113	61	54%
H30.10	121	76	63%
H30.11	144	82	57%

平成31年1月分 生乳出荷量別生産者戸数

出荷乳量	出荷戸数（戸）	
	平成31年	平成30年
100t 以上	**15**	10
80t 以上 100t 未満	**3**	6
60t 以上 80t 未満	**10**	9
40t 以上 60t 未満	**11**	13
20t 以上 40t 未満	**31**	34
10t 以上 20t 未満	**22**	23
10t 未満	**22**	27
計	**114(+1)**	122

輸入粗飼料の情勢

品　目	今後の改定要因			特　記　事　項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	【北米コンテナ船情勢】 2020年から温室効果ガス削減のための燃料規制（低硫黄物燃料油への移行）に向け、複数の船会社が新たなチャージの導入を表明している。各船社が既存の構造の中で対応できることは限られているものと見られ、荷主へ転嫁する動きは避けられないものと思われる。
ビートパルプ	→	→	↑	日本向け生産地のミネソタ州及びノースダコタ州の気温は極めて低く、原料大根の保管コンデションは良好で、製糖・ビートパルプ生産も順調に行われているが、今後の天候は注視していく必要がある。 新穀の作付けは例年通りであればミネソタ州及びノースダコタ州では４月からスタートする見込みで、今のところ新穀の作付面積に大きな増減はなさそうだ。
ヘイキューブ	→	→	↑	
スーダングラス	→	→	↑	豪州産オーツヘイの生産量減少と価格の高騰を受け、安価なイネ科牧草として中～低級品への需要が一時的に高まったが、現在はそれも一服している。 近年、日本向けスーダンは堅調な需要を見せていることから、小麦に代わる換金作物として新穀の作付面積は昨年並～やや増加するものと予想される。
アルファルファヘイ	→	→	↑	【ワシントン州】 産地在庫は逼迫しているため相場は高値で張り付いている。 19 年産の作付面積は 18 年産並みと予想されるが、産地在庫が逼迫していることから、19 年産の相場は弱含む要素は見当たらない。 【オレゴン州】 輸出向けとしては高値であり、主として米国内需要向けに販売されると考えられる。19 年産の作付面積は概ね 18 年産と同様と推測される。
USチモシー	→	→	↑	産地在庫の余剰は一部の２番刈と限られている。相場は弱含む要素に乏しく、新穀までは現状のまま高値で推移すると予想される。19 年産の作付面積は昨年に比べやや増加するものと見られる。
カナダチモシー	→	→	↑	産地在庫は一部の低級品を除いてほぼ成約済となっている。産地相場については、旱魃の影響でカナダ国内の自給粗飼料も不足していることからチモシーへの需要が高まっており、大幅に上昇したまま現在も高値で推移している。
オーツヘイ	→	→	↑	2018 年産の豪州産オーツヘイ、ストロー類の生産は終了しています。 西豪州産は、生産量の７割ほどが降雨被害を受けており、中～低級品の発生が中心となっている。豪州国内からの引き合いは徐々に落ち着き始めている。 東豪州および南豪州は旱魃の影響で例年よりも収量が少なく、豪州国内からの引き合いも強かったことから全体的に輸出向けの数量は例年よりも限られる。各サプライヤーの在庫は不足しており、生産農家側の余剰在庫もほぼないものと見られており、今後の追加買付については難しい。産地相場は高騰したまま堅調に推移している。
クレイングラス	→	→	↑	１月 15 日付の作付面積は前年同月比 120%と、好調な産地相場を背景に昨年同期比で大きく増加しており、19 年産はさらに生産量が増加することが期待される。 産地相場は、日本および韓国からの需要は昨秋以降旺盛な状態が続いているため堅調に推移している。今後は、韓国勢が新穀とともに一斉に買付に入ることで産地相場を高値に引き上げることが最も懸念されている。
ストロー類	→	→	↑	日本からの堅調な需要が続いています。 各サプライヤーの慎重な原料草の買付によって、年明け以降、徐々に抱えていた在庫の放出し始めている。このため、上昇を続けていた産地相場もここに来てやや落ち着きを見せ始めている。
ルーサンペレット（デハイ）	→	→	↑	

デーリーキッズサポート スキー研修を開催しました！

1月26日(土)・27日(日)、デーリーキッズサポート事業スキー研修を行いました。

この事業は、視察、研修を通じて酪農家の親子及び子ども同士の親睦交流をはかり、酪農に対する造詣を深めてもらうことを目的として、昨年度より開始されたものです。今回は大山ホワイトリゾートでスキー研修を行い、7家庭26名が参加されました。

今年は暖冬でスキー場に雪があるか心配しましたが、前夜から雪が降り研修当日はフカフカの新雪が積もった最高のコンディションとなりました。

参加者は2歳から中学2年生と年齢層が広かったため、スキー班(中級・初級)、雪遊び班とグループに別れて活動を行いました。

スキー班

雪遊び班

小学校高学年以上のスキー中級班は積極的にいろいろなコースに挑戦し、保護者がついていくのが大変なほどでした。年長さんから低学年のスキー初級班は、はじめはスキーを履いてリフト乗り場まで行くのも四苦八苦でしたが、少しずつ上達し、保護者や事務局と一緒に初心者コースで楽しく滑りました。

雪遊び班のちびっ子たちも、いろいろな形のそりで滑ったり、雪合戦やかまくらを作ったりと、思い思いに楽しんでいました。

ホテルに帰ってみんなで美味しい夕食をいただいた後、「酪農と牛乳の勉強会」をしました。はじめに1人ずつ自己紹介をし、次に酪農の仕事と牛乳の栄養を紹介する紙芝居を見てもらいました。小さい子どもには少し難しいかな、と思いましたが、子どもたちは「あっ、ぼく、子牛が生まれるとこ見たことあるよ」「わたしはミルクをあげたことある」「給食でいつも牛乳飲んでるよ」と興味津々で見てくれました。続いて行ったクイズ大会も大いに盛り上がり、みんなで楽しいひと時を過ごすことができました。

研修会では、子どもたちが紙芝居に夢中！

ドキドキの自己紹介タイム。

スキーの後はみんなで夕食♪いただきます♪

2日目も午前中いっぱいスキーと雪遊びを楽しみ、昼食後にバスで帰路につきました。

帰りのバスでは、はじめは興奮冷めやらぬ感じではしゃいでいた子どもたちも、いつの間にか夢の中・・・2日間の充実感が感じられました。

参加者の皆さんからは、「去年よりスキーが上手になり、成長が感じられた」「親子だけでスキーに来るのは大変なので、こういう機会があってよかった」「ぜひまた参加したい」と、うれしい声をたくさんいただきました。企画・運営は大変ですが、子どもたちや保護者の皆さんの笑顔を見ていると、事務局としてこの活動を今後も継続していきたいと思いました。

次回は夏に活動を企画したいと思っています。今回参加された方はもちろん、初めての方も大歓迎です。次回もたくさんのご参加をお待ちしております。

ホテルの前で全員集合！

大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

理事会だより　平成31年2月1日理事会にて次の議案が決議されました

【提出議案】
第1号議案　平成30年度事業実績について
第2号議案　平成30年度決算案について
第3号議案　平成31年度事業計画について
第4号議案　定款の一部変更について
第5号議案　平成31年度コンプライアンス計画について
第6号議案　リース契約について
第7号議案　役員の退任願いについて

異動辞令等　下記の方が退職されました 長い間ご苦労さまでした

退職(平成31年1月20日付)

（所属及び役職）	（氏　名）
市乳課　職員	前田　孝大

退職(平成31年1月31日付)

（所属及び役職）	（氏　名）
広島営業所　職員	岡田　優香

退職(平成31年2月8日付)

（所属及び役職）	（氏　名）
大山まきば　職員	伊藤　恵

製造管理課　工場見学開放Dayについて

開催日程 2019年3月9日（土）
開催時間 9:30～12:00
受付締切 11:30まで

※工場見学のお客様入口にて受付をお済ませの上、ご来場ください。
※通常の工場見学は予約制です。他の日時での開放は行っておりません。

講　演　週刊文春で人気連載記事執筆の笹井恵理子氏講演会のお知らせ

昨年５月、週刊文春の記事で「日本一老けない牛乳は鳥取にあり」と掲載され、鳥取県民のみならず、県外の方にも鳥取県の牛乳が印象に残るきっかけとなりました。

このシリーズは週刊文春で、読者人気 No.１となり、１冊のムック本として出版されました。

出版を記念して著者 笹井恵理子氏による講演会を開催致します。

聴講は事前に申し込みが必要となります。ご興味をお持ちの方は、下記より申し込みください。

皆様のご来場お待ちしています。

特別講演

最新＆最強 賢い食事で老けないカラダづくり

講師　ジャーナリスト 笹井　恵理子

日時　平成 31年3月20日(水)
受付 /12:30　開始 /13:00　終了 /15:30（予定）

会場　まなびタウンとうはく 4階多目的ホール
鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万 266-5

入場無料 要事前申し込み

入場には事前に申し込みが必要です
下記の申し込みフォームまたは、下の QR コードから事前申し込みください
https://dainyu.or.jp/saikyousyoku/

【お問い合わせ先】
大山乳業農業協同組合 講演会事務局
ＴＥＬ：0858-52-2211
ＦＡＸ：0858-53-1501
MAIL：email@dainyu.or.jp

ホームページからのお声

■これぞ牛乳です。美味しく頂きました。これからもこだわりの牛乳をつくってください。（岡山県）

■長年地元の給食の牛乳として、地元の子供達の成長を支えて頂きありがとうございます。子供も牛乳が好きなので、いつか一緒に工場見学へ行きたいと願っています。（鳥取県）

■大山乳業の新しいテレビＣＭ「カウィーが行く！」編、子供達の笑顔と牛乳の飲みっぷりが素敵でした。カウィーも大人気っぷりが伝わってきて、ほんわかしますね。（大阪府）

■こんなに美味しい牛乳、バター、コーヒー牛乳があるとは！と感動しました。もう、他は買えません!!（和歌山県）

■鳥取県の味といえば白バラです。帰省する度の楽しみです。これからも美味しい商品を楽しみにしてます。（千葉県）

■亡くなった祖母の家の冷蔵庫にいつも入ってました。東京で出会えるとは思わず、感激です。娘を連れて今度大山に伺いたいと思います。（東京都）

■子ども達もみんな、大好きです。普段は白バラ牛乳しか買いませんが、品切れで仕方なく他メーカーのものを買いましたが、家族からクレームが。特に子どもも「味が違うから、いつものがいい」と。（鳥取県）

4コマ漫画

カウィーのエブリディ！

COWI'S Everyday

さく：福井チーフ　え：堀江あかね

花言葉

編集後記

今月の現場潜入は、搾乳された生乳が大山乳業農協に到着するまでを紹介しました。

取材中も新たな発見や驚きに出会い編集委員のメンバーも貴重な経験になりました。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで。

【email@dainyu.or.jp】

こちらのQRコードからもメールアドレスを取得できます▶

Dainyu-PICKUP!

大山乳業農協が大人気コミック「四十七大戦」の舞台化スポンサーに決定しました！

「四十七大戦」とは、47都道府県のご当地神（ゆる神様）たちが次の「首都」を巡って争う都道府県擬人化バトルを描いた作品です。主人公のゆる神様「鳥取さん」が、人口の減少により崩壊の危機に直面する消滅可能性都市「鳥取」を支えるべく奮闘します。

こちらの漫画は昨年のWEB漫画総選挙2018で１位を受賞するなど、大変人気を集めており、今年10月より東京・鳥取の２会場で舞台化される事が決定しました。

大山乳業は地元鳥取の企業としてスポンサー協力する事となり、先日行われた発表記者会見では、小前組合長が平井県知事とともに登壇。

インタビューでは、「鳥取県は小さな県ですが、名所があり、農産物、海産物、とっても美味しいものがあります。鳥取の良さを知ってもらう、礎となるような取り組みだと思いました。」と、鳥取で開催される公演に期待を寄せました。

舞台の詳細は後日発表されます。ぜひご注目ください！

Dainyu-PICKUP!

WEB漫画「こんげでカーチャン！鳥取で子育て始めました」に白バラ牛乳が登場します！

「こんげでカーちゃん！」は、育児と漫画家をがんばる川先生のホンワカ田舎エッセイです。

昼は２児の母、夜は漫画家。夫の実家・鳥取県で過ごす、忙しないけどほのぼのしたこの毎日が、何より大切で愛おしい！

随所に鳥取県の「あるある」が詰まったこのＷＥＢ漫画に白バラ牛乳が登場します！

最新話を無料で読むことが出来ます。ぜひご覧ください。

実際の漫画の１コマ

アクセスはこちらの URL から
https://comic.pixiv.net/works/4738

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

今回紹介するのは、昭和50年8月20日発行の酪農だより第１６３号。「酪農家を訪ねて」というシリーズ記事で東伯町（現琴浦町）森藤の陰山弘道さんが紹介されています。牛舎を背景にご家族との素敵な1枚でした。

酪農だより vol.685

発行責任者／小前孝夫　編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／平成31年２月20日

大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
http://www.dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp